

1 基本方針

生活保護法に基づき、利用者の日常生活の安心・安全を確保するとともに、日常生活の自立や地域生活移行等の実現を目指し、利用者主体のサービスを提供します。さらに、自主運営の施設として責任をもった経営を基本とし、必要な検証・改善を行い、業務の効率化・経営の安定化を図ります。

2 重点項目

安定経営のための利用者の確保

3 数値目標

内 容	目標等
(1) 救護施設	96人×365日×98%
(2) 一時入所	40人/月×12か月
(3) 自立準備ホーム	2人×30日
(4) 地域生活及び他法施設等移行者	5人

4 施設運営

(1) 利用者への支援

内 容	実施時期・回数等
ア 個別支援計画に基づく利用者のニーズに応じた支援	
(ア) 個別支援計画の策定	
a 利用者の要望を踏まえた、個別支援計画の作成（新規入所は1か月以内）	入所時、9月、3月
b 利用者及び福祉事務所職員参画によるケア会議（モニタリング含む）の実施	〃
c 精神的・身体的な状態の変化及び本人、家族の変更希望時の見直し	発生時
(イ) 日常生活自立支援	
a 生活体験（掃除、調理、洗濯、小遣い銭管理）	随時
b 社会体験（銀行払出し、交通機関利用、役所手続、選挙等）	〃
c 薬の自己管理へ繋げる支援	〃
d 健康管理（食事、おやつの自己管理、手洗い、うがい）	〃
(ウ) 日中活動の充実	
a 利用者個々の適応に応じた3班活動と活動場所の整備	随時
(a) 創作班（壁面装飾作成、年中行事用物品準備）	週4日
(b) 健康・リハビリテーション班（健康・機能維持や情操活動）	〃
(c) 作業班（手工芸、花壇整備、清掃、園外清掃）	〃
b 自主参加クラブ活動	
クラブ活動（カラオケ、スポーツ、歩行、ゲーム）	週1回
c その他の活動	
(a) 健康体操（オープンスペース等におけるラジオ体操）	毎日
(b) 調理実習	年間8回、40人
(エ) 利用者の主体性の尊重	
a 利用者の主体的な活動への支援	
(a) 自治会活動への支援（定例役員会）	年4回
(b) 行事の企画（季節の行事）及び打合せへの参画	年3回
（お花見会、余暇支援（ビデオ鑑賞会、芋煮会等）	

内 容	実施時期・回数等
(c) 給食委員会への参加	年 2 回
b 利用者の満足度・要望等の把握	
(a) 意見箱の設置による意見の聴取	月 1 回
(b) 利用者との話し合い	〃
(c) 利用者アンケートの実施	6 月、1 2 月
(オ) 権利擁護の取組	
a 倫理綱領・具体的行動計画に基づく取組	
(a) 具体的行動計画の配布	4 月、全職員
(b) 朝のミーティング時の読み上げ（具体的行動計画条文読み合わせ）	平日（4 月～1 1 月）
b 身体拘束廃止ガイドラインに基づく生活支援の実践	
(a) ガイドラインの配布	4 月、全職員
(b) ポスター掲示等による啓発	通年
(c) 朝のミーティング時の読み上げ	平日（1 2 月）
c 虐待防止の取組	
(a) 体制整備、早期発見チェックリストの実施（職員対象）	6 月、1 2 月
(b) 虐待防止委員会の開催	〃
ポスター掲示による啓発	通年
(c) 虐待防止に関する研修	1 0 月
(カ) 地域生活移行支援	
a 居宅生活訓練事業（施設機能強化推進費特別事業）	年間 2 名
(a) 日常生活訓練（日常的家事、食事、洗濯、清掃、金銭管理）	随時
(b) 社会生活訓練（公共交通機関の利用、買物、対人関係の構築、通院、地域行事への参加、作品作り・販売）	〃
(c) その他地域生活に必要な取組（グループホーム・作業所の見学及び体験）	年 8 回
イ サービス評価	
(ア) 職員による自己評価の実施	1 2 月
(イ) 評価結果による改善事項の取組	1 月
ウ 健康管理	
(ア) 医療機関との連携	
a 生活習慣予防検診	7 月、2 月
b 嘱託医による往診・健康相談（内科医 3 回/月・精神科医 1 回/月）	2 医師
(イ) 対応マニュアルの遵守による感染症対策	
a 施設内の消毒、手洗いうがいの励行、手指消毒	随時
b 感染症対策委員会（危機管理委員会）開催（感染症発生時は随時）	年 2 回
c 利用者・職員合同研修による感染症に対する意識の定着	〃

（２）地域との交流、地域資源の活用

ア 地域資源を活用した地域交流	
(ア) 地域・町内会活動への参加・協力（夏祭り、地区祭り、敬老会、新年会等）	随時
(イ) 地域の小学校・中学校行事への参加	年 2 回
(ウ) 他施設との交流（東山荘、ポッケの森等）	随時
(エ) 近隣商店を利用した日用品やおやつ購入	年 3 0 0 回、6 0 人
イ 施設内を活用した地域交流	
(ア) 地域との懇談会等の開催	6 月
(イ) ボランティアの受入れ（定期クラブ活動、演芸、外出付き添い等）	随時

内 容	実施時期・回数等
ウ 災害時対策 (ア) 地域住民と連携した総合防災訓練の実施（町内会） (イ) 救急救命（ＡＥＤの操作訓練）の研修会 (ウ) 応急手当協力事業所の登録（ＡＥＤ設置） (エ) 被災地域住民の緊急一時受入れ	6 月、10 月 年 2 回 通年 要請時

（３）行事、家族との交流等

ア 年間を通した行事 (ア) 個別外出 (イ) 日帰り旅行 (ウ) 夏祭り（地域町内会主催への協力） (エ) 盆供養 (オ) 敬老を祝う会（敬老者紹介・地域町内会への参加） (カ) ボランティアコンサート (キ) 年忘れのつどい (ク) その他 季節に応じた行事食提供（花見、七夕、芋煮、正月、節分）	随時 6 月、10 月 7 月 8 月 9 月 11 月 12 月 随時
イ 家族との交流 (ア) ふるさと訪問 (イ) 家族への広報誌の発送 (ウ) 身元引受人へ近況のお知らせ	年 2 回 年 3 回 年 2 回

（４）関係機関との連携

ア 該当市町村の現況調査時に個別支援計画の説明と報告 イ 該当市町村との地域生活移行希望者の情報共有及び移行支援手続き ウ 身元引受人の変更に伴う調整 エ 利用者の入退院や様々な状況の変化に伴う説明と報告（含：長期入院者） オ 市町村・市町村福祉事務所（保護課）との連携強化 (ア) 入所（一時入所） a 満床プロジェクトによる受入れ強化及び職員の共通認識 b 福祉事務所、精神科病院、保護観察所と入所・一時入所事業の情報交換（各事業所の訪問、ホームページ、FAXで空室情報の提供） c 一時入所PR（レスパイト的利用） d 入所相談者の見学受入れ (イ) セーフティネット機能の発揮及び緊急保護ケースへの対応 (ウ) 自立準備ホーム a 刑務所出所後の自立更生の促進 b 更生保護施設等と宿泊事業の情報交換 (エ) 地域生活・他法施設への移行支援 a 個別支援計画に基づく地域生活・他法施設への移行対象者の検討 b 家族、関係者との協議及び受入れ施設との連絡調整 カ 障害者就労施設からの物品調達の推進	年 2 回 発生の都度 〃 〃 通年 毎月 訪問PR四半期毎 空室情報毎月 随時 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 通年
---	--

（５）情報公開、個人情報保護の取扱い

ア 個人情報・特定個人情報保護規程に基づく個人情報の保護 (ア) 文書の提示・持出しの適正な管理 (イ) 個人情報保護に関する職員の共通認識と意識高揚の徹底	通年 〃
--	---------

内 容	実施時期・回数等
(ウ) 広報紙等への個人データ掲載時の事前了解の確認	通年
(エ) パソコンハードや外部記憶媒体を通しての個人情報の流失防止	〃

(6) 苦情及びなんでも相談への対応

ア なんでも相談室責任者、受付担当者、第三者委員の明示と報告会の実施	年2回
イ なんでも相談室（相談・苦情解決）を活用しての相談・苦情の解決	通年
ウ 「意見箱」の活用による意見等の反映と回答書の掲示（掲示板）	月1回
エ 苦情解決結果による職場検討と苦情内容及び解決結果の公表	3月

(7) リスクマネジメントの推進

ア 事故防止の推進	
（ア）事故防止への取組	
a 事故の分析及び再発防止策の検討 （ロールプレイング、SHEL分析表活用）	発生の都度
b 事故の検証結果や対策の係、全体会議での周知徹底	〃
c 事故予防のためのリスク管理委員会の開催と再発防止の実践	〃
（イ）ヒヤリ・ハット体験報告	
a 全体会議でのヒヤリ・ハットによる気付きの喚起	月1回
b 係会議でのヒヤリ・ハットによる情報共有化（危険予知訓練の実施）	発生の都度
（ウ）事例検討会（処遇困難事例）	随時
（エ）誤薬ゼロに向けた取組	
a 誤薬について朝のミーティングで服薬時の注意喚起	平日
b マニュアルの確認・徹底	全体会議、係会議
（オ）所在不明者対策の取組（机上訓練・実践訓練）	年2回
（カ）感染症予防対策の徹底	
a 感染症対策委員会の開催と結果の周知	6月、11月
b 手洗い、うがい、手指消毒、マスクの着用、三密回避の徹底	通年
c 予防接種の実施（インフルエンザワクチン、コロナウイルスワクチン等）	随時
d 感染症マニュアルの見直し	2月、随時
e 感染予防備品の整備	随時
f 来訪者等面会の制限	発生時
g 法人内施設における発生時の応援・受援体制の構築	随時
h 発生時の対応シミュレーションの実施（職員配置・ゾーニング）	年2回
i 感染症対策に係る研修の実施（PPE着脱研修）	〃
j 感染症に係る業務継続計画の周知	4月
k 感染症に係る業務継続計画に関する研修の実施	年1回
l 感染症に係る業務継続計画に関する訓練の実施	〃
（キ）各種マニュアルの点検・整備	2月及び必要都度
イ 防災対策	
（ア）緊急時行動計画の整備	2月
（イ）火元責任者（正・副）の明示	4月
（ウ）防火設備点検及び施設生活安全点検の実施	毎月
（エ）消防関係機関との連携、利用者の避難・救護訓練及び消火等の訓練の実施	年6回
（オ）安否確認システムの訓練	年3回
（カ）災害時に備えた備蓄の確保（飲料水、レトルト、缶詰、保存パン他）	非常食5日分
（キ）土砂災害対策避難訓練の実施（土砂災害指定地区）	年3回

内 容	実施時期・回数等
ウ 防犯に係る安全対策	
（ア）防犯設備の整備・点検、夜間における施錠管理	通年
（イ）職員間の連絡体制の構築及び防犯研修・勉強会の実施	年1回
（ウ）関係機関や地域住民等多様な関係者との協力・連携体制の強化	通年
（エ）不審者対応マニュアルの見直し	2月
（オ）防犯（不審者対応）避難訓練の実施	7月、11月
エ 事業継続マネジメント（BCM）の推進	災害時等
オ ハラスメント防止の取組	
（ア）ハラスメント防止規程の周知徹底	通年
（イ）ハラスメントの相談・受付窓口の職員への周知	4月
（ウ）ハラスメント防止にかかる研修の実施	4月、11月
（エ）啓発ポスターの掲示	4月、通年
カ 公用車始業前安全点検の徹底と適正な整備管理	
（ア）ブレーキランプ等の運行前点検の実施	通年
（イ）定期点検・整備の実施	半年毎
キ 公用車運行時の交通安全の徹底	
（ア）法定速度及び交通ルールの遵守	通年
（イ）乗車全員のシートベルト着用の徹底	〃
（ウ）利用者送迎等運行ルート of 危険箇所点検	四半期毎
（エ）交通事故・交通違反時の報告及び安全運転の周知徹底 （第1月曜日の朝の引継ぎ時に園長が注意喚起を行う）	月1回
（オ）運行前後アルコールチェックによる酒気確認の徹底	毎回
ク 職員の健康管理	
（ア）健康診断の実施（健康診断、夜間従事者検診、腰椎検査、腸内細菌検査）	計画に基づく
（イ）産業医による職員の健康相談・職場巡視	年1回
（ウ）安全衛生係の設置	4月
（エ）メンタル研修の開催	年1回
（オ）ストレスチェックの実施	〃
（カ）上司による職員との定期面談の実施（人事考課及びアフターフォロー各2回 身上調書時、新任職員については入職1か月、6か月後）	年5回 新任職員7回

（8）人材育成及び研修計画

ア 法人内研修	
（ア）階層別研修	計画に基づく受講
（イ）専門職員研修	〃
（ウ）選択研修	〃
（エ）派遣研修	
a 第47回全国救護施設研究協議大会（宮城）開催取組（10月9日～10日）	全救協と連携
b 第55回東北地区救護施設研究協議大会（秋田）（7月24日～25日）	
（オ）職場研修	
a 権利擁護研修	4月（新規採用者）
b 個別支援計画研修会	年1回
c 感染症予防（食中毒・口腔衛生他）	〃
d 救急救命研修（AED操作・心臓マッサージ他）	年2回
e OJT研修による人材育成	
（a）新規・転入職員、臨時職員への研修	採用時、転入時
（b）OJT担当職員による介護・支援技術向上のための研修	採用後2か月、随時

内 容	実施時期・回数等
(c) 個人研修計画・評価シートによる評価とフォローアップ	年2回
(d) 新任職員指導・育成シートによる評価とフォローアップ	年3回
イ 法人外（選択）研修	
（ア）外部機関主催研修	
a 障害（知的・精神）の基本的理解を深める研修	4月、11月
b 医療的ケア研修	〃
c 介護技術基礎研修	5月、8月
d 虐待防止等研修	
（a）障害者虐待防止研修	2人
（b）障害者虐待防止リーダー研修	1人（係長・主査）
e 災害派遣福祉チーム基礎研修・スキルアップ研修（宮城県災害福祉広域支援ネットワーク協議会）	1人
f サービス管理責任者研修	1人
g 防火管理者研修	〃
h 同種施設及び高齢者施設の見学	随時
（イ）法人内各施設で主催される各種研修会への相互参加の推進	〃
ウ 資格取得の推奨	
（ア）国家資格等の取得に関する助成制度の活用	通年
（イ）介護技術等のスキルアップ研修への助成制度の活用	〃
エ 自己啓発研修	
（ア）資格取得の奨励（社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士等）	随時
（イ）専門研修等への参加奨励	〃
オ 福祉人材の育成	
（ア）社会福祉援助技術現場実習の受入れ	〃
（イ）介護福祉士養成実習の受入れ	〃
（ウ）介護等体験実習の受入れ	〃

（9）施設の維持管理

ア 消防設備保守点検業務	自主月1回
イ 自家用電気工作物保守点検業務	業者年2回
ウ エレベーター保守点検業務	隔月
エ 空調機保守点検業務	月1回
オ 居住棟温水ボイラー保守点検業務	年2回
カ 施設維持管理業務	点検年2回
キ 定期清掃業務（ワックス・棟内等）	毎日
ク 防犯設備保守点検業務	年2回、通年
ケ 自動ドア保守点検業務	年1回
コ 建築基準法第12条に基づく建物、防火設備（防火扉）点検報告（仙台市）	年3回
	業者年1回
	建物3年1回

（10）環境配慮の推進

ア 「わが社のe行動宣言」に基づく環境配慮の推進	通年
イ エコマークや環境ラベルのある商品等環境に配慮した物品の購入	〃
ウ 照明の減灯等節電対策の実施（職員不在時の消灯・昼食時の消灯）	〃
エ 使用済み用紙の裏面活用等省資源対策の実施	〃

内 容	実施時期・回数等
オ 廃棄物の分別の徹底と食品の残滓のコンポストによる堆肥づくり カ 施設内外の清掃等環境美化の推進	通年 施設内水曜日ほか

(1 1) 安定的な経営

【重】	
ア 安定経営のための利用者の確保	
（ア）入所規定に基づいた入所の推進 満床プロジェクトによる受入れ強化及び職員の共通認識	随時
（イ）欠員補充と一時利用者の開拓	
a 入所申込者に対する見学、体験利用の実施	随時
b 体験利用実施後の速やかなフォローアップと入所予定者の確保	〃
c 関係機関訪問によるPR	年4回
（ウ）入院者数減少に向けた取組	
a 職員のスキルアップ	
（a）健康観察と体調変化への気づき	毎日
（b）看護師、管理栄養士、支援職員と連携した健康管理	〃
（c）看護師による健康管理に関する研修会	四半期毎
（エ）スタッフ会議等での利用者確保に向けた検討・改善	
イ 建物・設備（専門家作成による長期修繕計画に基づき計画的に実施）の適切な管理	年2回
ウ 各種請求事務の実施	月1回
エ 予算執行状況等の情報提供（紙ベース）による経営認識の共有化	〃
オ 他の救護施設との経営情報等の交換	随時
カ 事業所全体での効率的な電気・水道・都市ガス使用の取組	毎月
（ア）適切な空調温度の設定（夏季室温28℃、冬季室温24℃に設定）	通年
（イ）都市ガスの使用量削減	〃
（ウ）デマンドによる節電の実施	夏季期間
キ 事務費加算額の安定確保	
（ア）福祉事務所等関係機関に対する利用PR（空室情報等）	（再掲）
（イ）ホームページによる利用PR（空室情報等）	〃

(1 2) 地域福祉推進計画に基づいた取組

ア 地域住民などとの連携・協働のための場づくり	
（ア）ボランティア団体への活動場所として施設、事業所を提供・活用	随時
（イ）ボランティアコーディネーター研修の受講	1人
（ウ）地域との交流	
a 地域・町内会活動への参加（夏祭り・敬老会等各種イベント）	（再掲）
b 地域の小学校、中学校行事への参加	〃
c 他施設との交流（東山荘・ポッケの森等）	〃
d 近隣商店を利用した日用品等の購入	〃
e 広報誌「太白荘だより」の発行	〃
f ホームページ、ブログによる紹介	〃
（エ）福祉教育等の実施	
a 各種実習の受入れ	〃
b 施設体験の受入れ	〃

内 容	実施時期・回数
イ 地域共生社会の実現に向けた取組 (ア) 精神疾患、身体・知的障害者の受入れ (イ) DV、虐待の被害者、ホームレスの受入れ (ウ) セーフティネット機能の発揮 a 地域における在宅生活が困難な者に対する施設サービスを通じた生活支援の推進 b 緊急一時保護や施設入所後の地域移行推進 ウ 危機管理体制の強化 (ア) 災害時対策 a 地域住民と連携した総合防災訓練・懇談会の実施（町内会等） b 救急救命（AEDの操作訓練）の研修会 c 応急手当協力事業所の登録（AED設置） d 被災住民の緊急一時受入れ (イ) 災害・感染症等発生時における他法人等への職員派遣 a 災害・感染症発生時における職員派遣体制の整備 b 各種協定及び関係機関等からの派遣要請に基づく職員派遣 c 災害福祉広域支援ネットワーク協議会チーム員の派遣	(再掲) 〃 随時 〃 (再掲) 〃 〃 〃 4月、随時 要請時 〃